

2022年度「フィールド実習」一覧

2022年6月23日
文学学術院

名称 中国語による入門演習——中国でコミュニケーションを実践する

指導教員 千野 拓政

受入機関

上海大学中文系・文化研究系

費用

約16万円

実習場所

中国上海市上大路55号上海大学中文系・文化研究系

活動期間

2022年10月3日～2023年1月30日(準備ゼミ)(8日間/計12時間) 2023年2月28日～2023年3月8日(実習)(9日間/計37.5時間) (受け入れ機関の都合で変更の可能性あり)(総計16日間/49.5時間)

主な活動内容

- ①4日間午前中2コマ、担当教員の立ち会いの下に、上海大学の学生とともに上海大学の教授の中国語コミュニケーションの授業を受ける。
- ②午後1コマ、課題に即して日中双方の学生がコミュニケーションの練習をする。
- ③討論終了後2コマ、毎日一つ課題を設け、専門班と合同して、学内外で調査活動をおこなう。(例えば、上海の物価調査、学生生活インタビュー、上海各市区[旧県城、旧租界、建国後の開発区、近年の開発区など]の特徴の観察など。上海大学の学生が付きそう。)
- 最終日に報告会を行い、成果を中国語で報告する。
- ④自由行動日を設け、グループに分かれて市内にでかけ、観察・調査を行う。調査対象は各グループが自己申告する。(5コマ)
- ⑤魯迅記念館、魯迅故居などを訪れ、解説員の中国語による説明を聞く。
- ⑥専門演習班の学生(1年生が主体)は、入門班と合同で調査活動を行うことで、リーダーシップの養成を図る。

評価方法 : ①秋期隔週開講の実習準備ゼミにおいて、リスニング、資料の解説、中国語による授業の受講を課す。与えられた課題をすべて終了することが求められる。
②上海での実習に参加し、中国語による授業、中国の学生相手のコミュニケーション、学内・市内での観察・調査活動を行う。(事前に授業の教材などは予習しておくことが求められる。)

募集時期 : 9月20日～10月3日(秋期科目登録開始日から面接当日まで)

選考方法 : 文学学術院で1年間中国語を履修した程度の語学力を有すること。ならびに秋期に隔週開講する実習準備ゼミに参加し、中国語による授業、リスニング、プレゼンテーションなどの訓練を受けたうえで、実習に参加すること。10月3日(月)6限に千野研究室で面接選考を行う。

備考 : 実習準備ゼミは秋期・隔週月曜6限に千野研究室で行う。
海外への学生引率助成を申請の予定(毎年申請している)

2022年度「フィールド実習」一覧

2022年6月23日
文学学術院

名称 中国語による専門演習——中国で専門ゼミを実践する

指導教員 千野 拓政

受入機関

上海大学中文系・文化研究系

費用

約16万円

実習場所

中国上海市上大路55号上海大学中文系・文化研究系

活動期間

2022年10月3日～2023年1月30日(準備ゼミ)(8日間/計12時間) 2023年2月28日～2023年3月8日(実習)(9日間/計37.5時間) (受け入れ機関の都合で変更の可能性あり)(総計16日間/49.5時間)

主な活動内容

- ①4日間午前中2コマ、担当教員の立ち会いの下に、上海大学の学生とともに上海大学の教授の専門の講義を受ける。
- ②午後1コマ、課題に即して日中双方の学生が報告・討論する。
- ③討論終了後2コマ、毎日一つ課題を設け、入門班と合同して、学内外で調査活動をおこなう。(例えば、上海の物価調査、学生生活インタビュー、上海各市区[旧県城、旧租界、建国後の開発区、近年の開発区など]の特徴の観察など。上海大学の学生が付きそう。)最終日に報告会を行い、成果を中国語で報告する。
- ④自由行動日を設け、グループに分かれて市内にでかけ、観察・調査を行う。調査対象は各グループが自己申告する。(5コマ)
- ⑤魯迅記念館、魯迅故居などを訪れ、解説員の中国語による説明を聞く。
- ⑥専門演習班の学生(1年生が主体)は、入門班と合同で調査活動を行うことで、リーダーシップの養成を図る。

評価方法 : ①秋期隔週開講の実習準備ゼミにおいて、リスニング、資料の解説、中国語による授業の受講を課す。与えられた課題をすべて終了することが求められる。
②上海での実習に参加し、中国語による授業、中国の学生相手のコミュニケーション、学内・市内での観察・調査活動を行う。(事前に授業の教材などは予習しておくことが求められる。)

募集時期 : 9月20日～10月3日(秋期科目登録開始日から面接当日まで)

選考方法 : 文学学術院で2年間中国語を履修した程度の語学力を有すること。ならびに秋期に隔週開講する実習準備ゼミに参加し、中国語による授業、リスニング、プレゼンテーションなどの訓練を受けたうえで、実習に参加すること。
9月28日(月)6限に千野研究室で面接選考を行う。

備考 : 実習準備ゼミは秋期・隔週月曜6限に千野研究室で行う。
海外への学生引率助成を申請の予定(毎年申請している)

2022年度「フィールド実習」一覧

2022年6月23日
文学学術院

名称 カーボンニュートラルに向けた地域の実践を学ぶー森林・農と再生可能エネルギーー

指導教員 西城戸 誠

受入機関

岩手大学農学部寒冷フィールドサイエンス教育
研究センター（山本信次教授ほか）株式会社
さがみこファーム（代表取締役・山川勇一郎）

費用

33,000～59,000円

実習場所

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18-8 TEL:019(621)6665
〒252-0161 神奈川県相模原市緑区青野原 TEL:050(3578)3356

活動期間

2022年9月8日～年9月10日、2022年9月16日、17日、その他事前学習、事後学習で3日（5日間/計45時間）
※45時間以上必須

主な活動内容

【1】事前学習

7月23日（土）参加者打ち合わせ＋事前学習会（第1回）（対面）
7月30日（土）事前学習会（第2回）林業経済学会シンポジウム（zoom）への参加
9月 5日（月）事前学習会（第3回）＋直前打ち合わせ（対面もしくはzoom）

【2】森林資源と再生可能エネルギー【9月8日～10日 岩手フィールド実習】

1日目 岩手大学滝沢演習林（北上山地に関するレクチャー、演習林の実習）
2日目 紫波町の公民連携のまちづくり、紫波グリーンエナジー訪問
3日目 花巻バイオマスエナジー、陸前高田の復興現場と森林利用

【3】農・食と再生可能エネルギー【9月16、17日（予定）さがみこベリーガーデン訪問（場合によっては9月下旬以降の土日になる場合もある）】

ソーラーシェアリングの取り組みを学ぶ

評価方法： 応募者多数の場合は、事前学習で用いる課題図書（『見えざる森の暮らしー北上山地・村の民俗生態史』岡恵介、大河書房、2008年）に関連したレポートを提出し、その内容で選考する場合があります。

募集時期： 2022年6月～7月上旬

選考方法： ①選考方法および応募方法

本実習に応募した志望理由書（600字以上）を元に選考します。志望動機の中には、これまで早稲田大学で学習した内容も含めた経験と、実習参加後に何に役立てたいかなどを述べてください。志望理由書には、学籍番号・所属コース／論系、氏名、メールアドレスを記入し、書式は自由です（wordファイル、もしくはpdfファイルで提出してください）。

志望動機の応募については、担当教員（西城戸）にメールしてください（nishikido@waseda.jp）。締め切りは6月29日（水）までとします。実習後、面接を行う場合があります（6月下旬から7月上旬：個別に）。※期限を延長（6月22日→6月29日）しました。6/23追記

②フィールド実習の説明会：2022年6月7日（火）12:20～12:50（zoom）

zoom接続情報配下の通りです。

<https://zoom.us/j/99511718700?pwd=SFVscHRvOGpDb3VRaC95QnlrbGMwZz09>

ミーティングID: 995 1171 8700

パスワード: 986724

備考：【2】のプログラムについては、岩手大学農学部の複数の教員などリスク管理の補助を依頼できる。

【3】のプログラムについては、受け入れ組織と連携してリスク管理に努める。

経費は岩手実習と相模湖実習の合算です。

含まれる費用は往復交通費（新幹線、バスによって異なります。計算は東京発着分。相模湖実習の交通費は含まれません）、宿泊費、現地視察費。
食事代は含まれていません。

2022年度「フィールド実習」一覧

2022年6月23日
文学学術院

(参考)

新幹線の場合 合計43000(5人参加) 41000(10人参加)

バスの場合 合計29000(5人参加) 27000(10人参加)

※ 岩手研修の食事代は含まない、岩手・相模原研修の研修、宿泊料金

なお、往復の交通費は学割を提供したおよその金額です。手配は各自でお願いすることになります。

以 上